

景況感は、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大  
先行きは、製造業は悪化幅拡大、非製造業は同水準

## 目次

	ページ
調査要領	1
1. 概況	2
2. 業況判断	製造業、非製造業ともに悪化幅縮小 3
3. 売上	製造業、非製造業ともに悪化幅拡大 3
4. 受注	製造業は減少幅拡大、建設業は同水準 4
5. 経常利益	製造業、非製造業ともに減少幅縮小 4
6. 在庫	製品在庫は過剰感減少、原材料在庫は過剰感増加 4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格は低下幅縮小、仕入価格は上昇に転じる 5
8. 資金繰り・借入金残高	借入金で製造業は増加幅拡大、非製造業は増加幅縮小 5
9. 雇用	製造業は過剰感減少、非製造業は不足に転じる 6
10. 設備投資	製造業、非製造業ともに前年比増、補修・更新が主 6
11. 経営上の問題点	製造業、非製造業ともに「売上・受注の減少」が上位、 「仕入価格の上昇」が上位5項目に入る 7
12. 平成25年中の設備 投資計画について	11

## ○調査要領

- 調査目的 鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため  
 調査対象 県内企業220社、回答企業95社、回答率43.2%  
 調査方法 各支店を通じるか、または郵送による記名式回答  
 調査対象期間 平成24年10～12月実績及び平成25年1～3月予想  
 調査時点 平成25年2月下旬～3月中旬

## ○業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食料品	10	10.5	10	100.0
	繊維・縫製	1	1.1	1	100.0
	木材・木製品	1	1.1	1	100.0
	紙・紙加工品	4	4.2	4	100.0
	窯業・土石	6	6.3	6	100.0
	金属・機械	12	12.6	12	100.0
	電気機械	11	11.6	10	90.9
	印刷・その他	8	8.4	8	100.0
	計	53	55.8	52	98.1
非 製 造 業	建設業	6	6.3	4	66.7
	卸売業	18	18.9	12	66.7
	小売業	9	9.5	6	66.7
	運輸業	4	4.2	3	75.0
	旅館・ホテル	5	5.3	3	60.0
	計	42	44.2	28	66.7
全部門合計		95	100.0	80	84.2

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業… 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業  
 卸売業……………資本金1億円以下または従業員100人以下の企業  
 小売業……………資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業  
 サービス業……………資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### — B S I とは —

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。B S I がプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

# 1 概況……県内景況感は、製造業、非製造業ともに悪化幅縮小 先行きの景況感は、製造業、非製造業ともに悪化幅拡大

鳥取県企業動向調査によると、平成24年10～12月の「自社業況の総合判断」は、前期（平成24年7～9月）に比べて製造業では、電気機械で悪化幅が縮小したことなどから、2.0ポイント上昇。非製造業では、運輸業などで悪化幅が縮小したことなどから、1.0ポイント上昇。全産業では▲9.5と前期（▲11.0）より1.5ポイント悪化幅が縮小。また、前回調査時（11月）の予想（▲11.0）よりも1.5ポイント悪化幅が縮小した。

先行き平成25年1～3月の景況感は、製造業では、電気機械、紙・紙加工品で悪化幅が拡大することなどから6.0ポイント低下。非製造業では、卸売業で悪化幅が拡大することから0.5ポイント低下する。全産業では3.5ポイント低下する見込み。

## 1. 業種別の景況（詳細はP.3上段をご覧ください）

製造業の景況感は、前期比2.0ポイント上昇したが、4四半期連続で悪化となった。（▲6.5→▲4.5）

非製造業の景況感は、前期比1.0ポイント上昇したが、63四半期連続の悪化となった。（▲16.5→▲15.5）

## 2. 売上高の景況（詳細はP.3下段をご覧ください）

製造業では、前期比2.5ポイント低下した。

非製造業では、前期比2.0ポイント低下した。

全産業では、前期比2.5ポイント低下した。

（▲7.0→▲9.5）

## 3. 受注高の景況（詳細はP.4上段をご覧ください）

製造業では、前期比8.0ポイント低下した。

建設業では、前期と同水準だった。

全産業では、前期比7.5ポイント低下した。

（▲6.0→▲13.5）

## 4. 経常利益の景況（詳細はP.5上段をご覧ください）

製造業では、前期比1.0ポイント上昇した。

非製造業では、前期比1.0ポイント低下した。

全産業では、前期比2.0ポイント上昇した。

（▲9.0→▲7.0）

## 5. 販売価格、仕入価格の景況（詳細はP.5上段をご覧ください）

### ■販売価格

製造業では、前期比1.5ポイント上昇した。

非製造業では、前期比18.5ポイント上昇した。

全産業では、前期比8.5ポイント上昇した。

（▲12.5→▲4.0）

### ■仕入価格

製造業では、前期比2.0ポイント上昇した。

非製造業では、前期比17.5ポイント上昇した。

全産業では、前期比9.0ポイント上昇した。

（▲2.5→+6.5）

## 6. 経営上の問題点（詳細はP.7下段をご覧ください）

大きいものから2項目選択した上位項目（全産業）

「売上・受注の減少」…62%の企業が選択した。

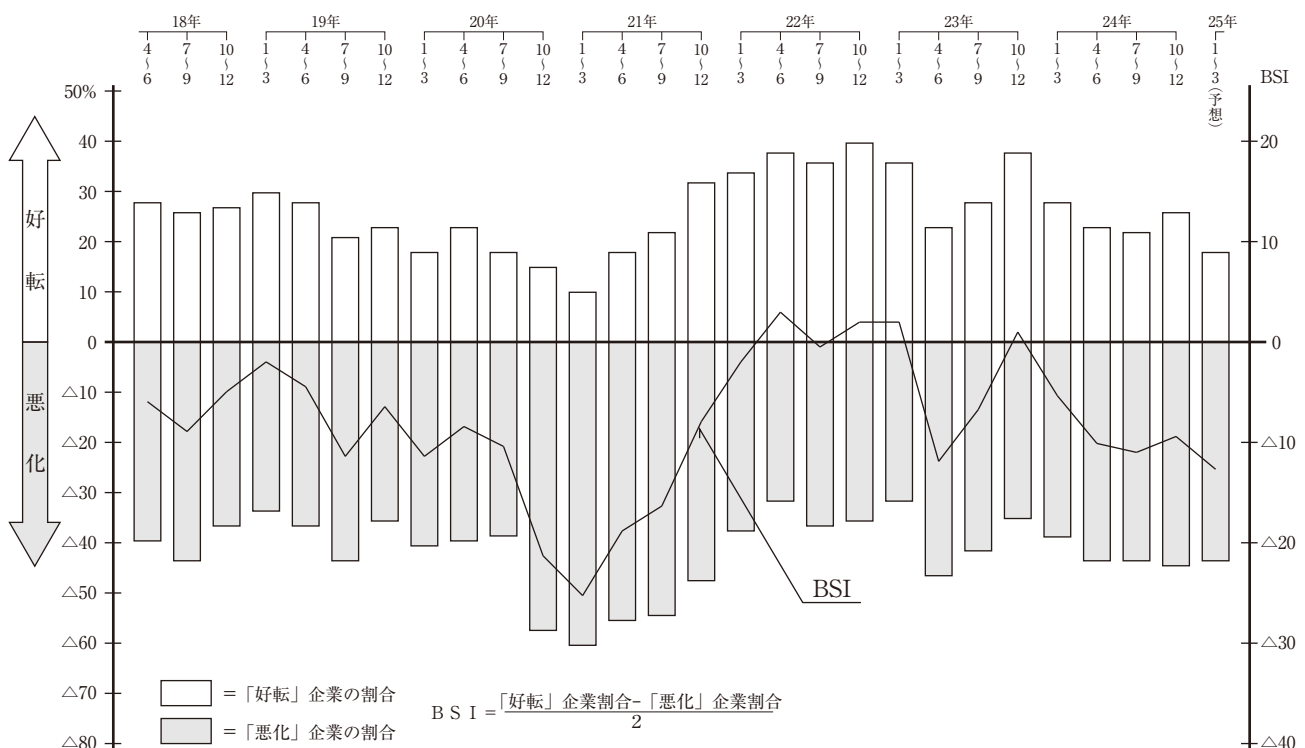
「先行き見通し難」…23%の企業が選択した。

「仕入価格の上昇」…21%の企業が選択した。

「過当競争」…19%の企業が選択した。

「販売価格の低下」…18%の企業が選択した。

図－1 自社業況の総合判断の推移



## 2 業況判断……製造業、非製造業ともに悪化幅縮小

「自社業況の総合判断」BSI※「(好転の割合-悪化の割合)÷2

24年10～12月は、前回調査比 +1.5(▲11.0→▲9.5)

前回(11月)調査の先行き予想比 +1.5(▲11.0→▲9.5)

25年1～3月の見込みは、▲3.5(▲9.5→▲13.0)

25年4～6月の見込みは +10.0(▲13.0→▲3.0)

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示すもの

### 製造業のBSI

24年10～12月は、前回調査比 +2.0(▲6.5→▲4.5)

上昇した業種：紙・紙加工品、窯業・土石など

低下した業種：金属・機械、食料品など

25年1～3月の見込みは、▲6.0(▲4.5→▲10.5)

上昇見込み：出版・印刷・その他

低下見込み：食料品、電気機械など

25年4～6月の見込みは、+6.5(▲10.5→▲4.0)

上昇見込み：食料品、窯業・土石など

低下見込み：なし

### 非製造業のBSI

24年10～12月は、前回調査比 +1.0(▲16.5→▲15.5)

上昇した業種：卸売業、運輸業など

低下した業種：建設業、小売業

25年1～3月の見込みは、▲0.5(▲15.5→▲16.0)

上昇見込み：建設業

低下見込み：卸・小売業

25年4～6月の見込みは、+13.5(▲16.0→▲2.5)

上昇見込み：建設業、旅館・ホテルなど

低下見込み：なし

図-2 業況総合判断 (製造業)

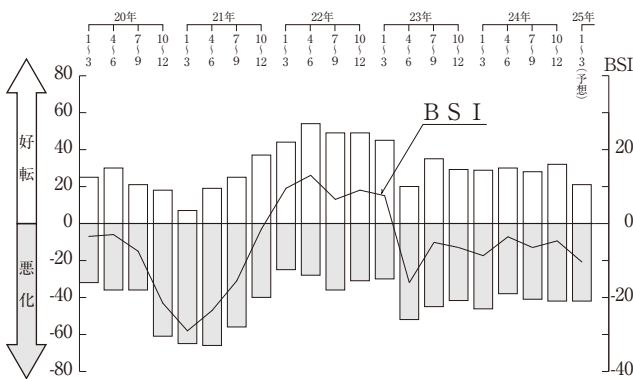
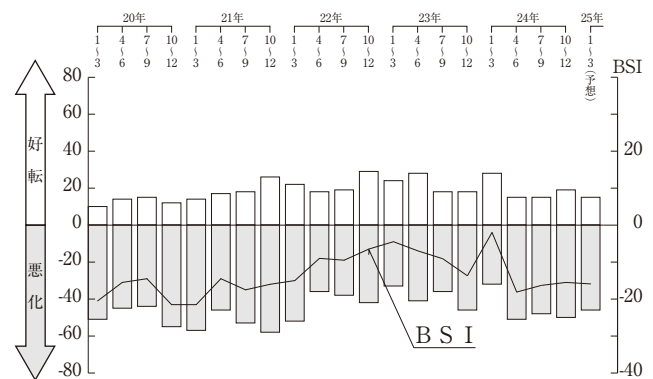


図-3 業況総合判断 (非製造業)



## 3 売上……製造業、非製造業ともに悪化幅拡大

### 製造業の売上高BSI

24年10～12月は、前回調査比 ▲2.5(▲5.5→▲8.0)

上昇した業種：金属・機械、電気機械

低下した業種：食料品、窯業・土石など

25年1～3の見込みは、+3.0(▲8.0→▲5.0)

上昇見込み：紙・紙加工品、出版・印刷・その他

低下見込み：食料品、金属・機械

### 非製造業の売上高BSI

24年10～12月は、前回調査比 ▲2.0(▲9.5→▲11.5)

上昇した業種：卸売業、運輸業など

低下した業種：建設業、小売業

25年1～3の見込みは、+4.0(▲11.5→▲7.5)

上昇見込み：建設業、旅館・ホテル

低下見込み：卸売業、運輸業

### 売上高にかかる回答の集計(回答企業の加重平均)

#### 全産業(回答48社)

24年10～12月実績は、前年同期比 +1.2%

25年1～3月予想は、同 ▲2.1%

#### 製造業(27社)

24年10～12月実績は、前年同期比 ▲1.0%

上昇した業種：電気機械、印刷・出版など

低下した業種：金属・機械、食料品など

25年1～3月予想は、前年同期比 ▲1.9%

上昇見込みの業種：電気機械、出版・印刷・その他

低下見込みの業種：食料品、金属・機械

### 非製造業(16社)

24年10～12月実績は、前年同期比 +3.6%

上昇した業種：建設業、卸・小売業など

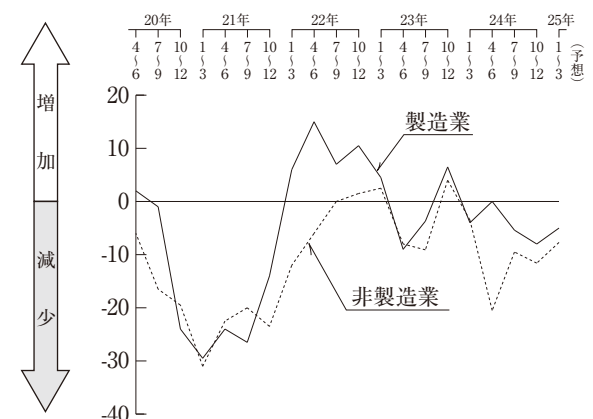
低下した業種：旅館・ホテル

25年1～3月予想は、前年同期比 ▲2.4%

上昇した業種：卸売業

低下した業種：小売業、旅館・ホテルなど

図-4 売上高のBSI



## 4 受注……製造業は減少幅拡大、建設業は同水準

### 製造業の受注高BSI

24年10～12月は、前回調査比 ▲8.0(▲9.0→▲17.0)

上昇した業種：電気機械

低下した業種：金属・機械、食料品など

25年1～3月の見込みは、▲3.5(▲17.0→▲13.5)

上昇見込み：紙・紙加工品、窯業・土石など

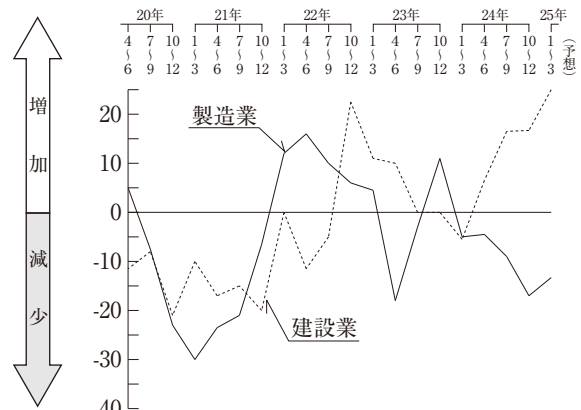
低下見込み：食料品、電気機械

### 建設業の受注高BSI

24年10～12月は、前回調査比 ±0.0(+16.5→+16.5)

25年1～3月の見込みは、+8.5(+16.5→+25.0)

図-5 受注額のBSI



## 5 経常利益……製造業、非製造業ともに減少幅縮小

### 製造業の経常利益BSI

24年10～12月は、前回調査比 +1.0(▲2.0→▲1.0)

上昇した業種：窯業・土石、電気機械

低下した業種：食料品、金属・機械など

25年1～3月の見込みは、▲12.0(▲1.0→▲13.0)

上昇見込み：なし

低下見込み：食料品、金属・機械など

### 非製造業の経常利益BSI

24年10～12月は、前回調査比 +1.0(▲16.5→▲15.5)

上昇した業種：卸売業、旅館・ホテル

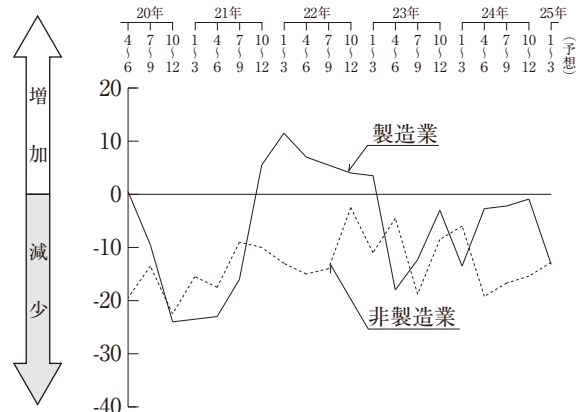
低下した業種：小売業、運送業

25年1～3月の見込みは、▲2.5(▲15.5→▲13.0)

上昇見込み：建設業、旅館・ホテル

低下見込み：卸・小売業

図-6 経常利益のBSI



## 6 在庫……全ての在庫で過剰感増加

### 製品在庫BSI [(不足-過剰)÷2]

24年10～11月は前回調査比 +1.0(▲6.0→▲5.0)

過剰感が増加した業種：金属・機械など

過剰感が減少した業種：電気機械

不足感が増加した業種：なし

不足感が減少した業種：繊維・縫製

25年1～3月の見込みは、▲2.0(▲5.0→▲7.0)

過剰感増加見込み：食料品、紙・紙加工品

過剰感減少見込み、不足感増加見込み、不足感減少見込みはなし

### 商品在庫BSI

24年10～12月は前回調査比 ±0.0(▲6.5→▲6.5)

過剰感が増加した業種：小売業

過剰感が減少した業種：卸売業

不足感が増加した業種、不足感が減少した業種はなし

25年1～3月の見込みは、▲4.5(▲6.5→▲2.0)

過剰感増加見込み：なし

過剰感減少見込み：卸売業

### 製造業の原材料在庫BSI

24年10～12月は前回調査比 ▲1.5(▲5.0→▲3.0)

過剰感が増加した業種：紙・紙加工品、金属・機械

過剰感が減少した業種：食料品

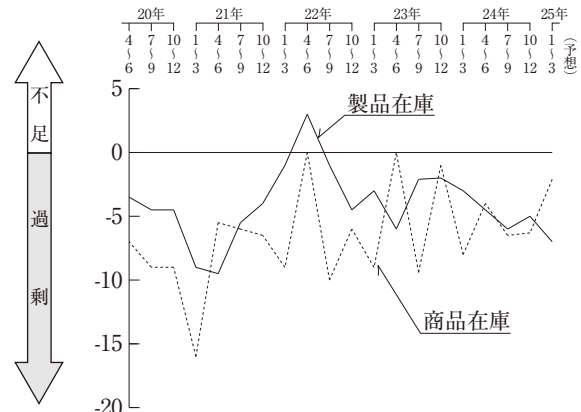
不足感が増加した業種：窯業・土石

不足感が減少した業種：なし

25年1～3月の見込みは ▲1.0(▲3.0→▲4.0)

不足感減少見込み：窯業・土石

図-7 製品・商品在庫のBSI

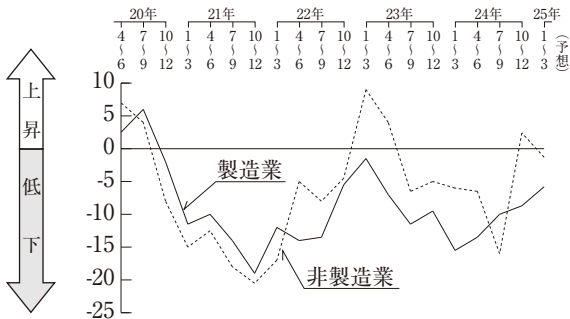




## 7 販売価格・仕入価格……販売価格は低下幅縮小、仕入価格は上昇に転じる

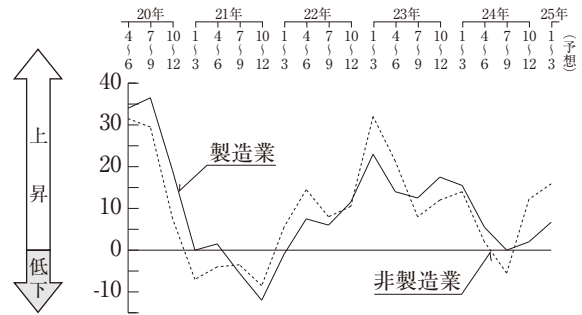
<b>販売価格BSI「(上昇-低下)÷2」</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+8.5(▲12.5→▲4.0)
25年1～3月の見込みは、	±0.0(▲4.0→▲4.0)
<b>製造業の販売価格BSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+1.5(▲10.0→▲8.5)
上昇した業種：電気機械	
低下した業種：食料品、窯業・土石	
25年1～3月の見込みは、	+1.5(▲8.5→▲6.0)
上昇見込み：食料品、窯業・土石	
低下見込み：出版・印刷・その他	
<b>非製造業の販売価格BSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+18.5(▲16.0→+2.5)
上昇した業種：建設業、卸・小売業など	
低下した業種：なし	
25年1～3月の見込みは、	▲4.0(+2.5→▲1.5)
上昇見込み：なし	
低下見込み：卸売業	

図-8 販売価格のBSI



<b>原材料仕入価格BSI「(上昇-低下)÷2」</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+9.0(▲2.5→+6.5)
25年1～3月の見込みは、	+4.5(+6.5→+11.0)
<b>製造業の原材料仕入価格BSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+2.0(±0.0→+2.0)
上昇した業種：窯業・土石	
低下した業種：食料品、金属・機械など	
25年1～3月の見込みは、	+4.5(+2.0→+6.5)
上昇見込み：金属・機械	
低下見込み：食料品、出版・印刷・その他	
<b>非製造業の原材料仕入価格BSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+17.5(▲5.5→+12.0)
上昇した業種：建設業、卸・小売業など	
低下した業種：なし	
25年1～3月の見込みは、	+4.0(+12.0→+16.0)
上昇見込み：建設業、小売業、運輸業など	
低下見込み：卸売業	

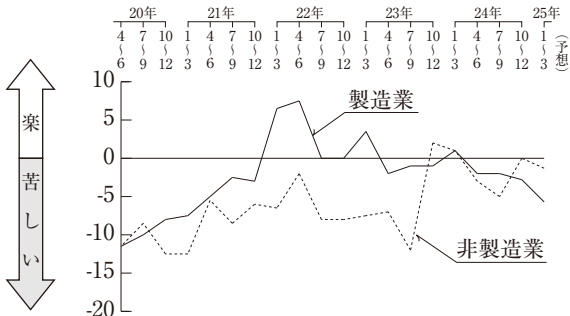
図-9 仕入価格のBSI



## 8 資金繰り・借入金残高……借入金で、製造業は増加幅拡大、非製造業は増加幅縮小

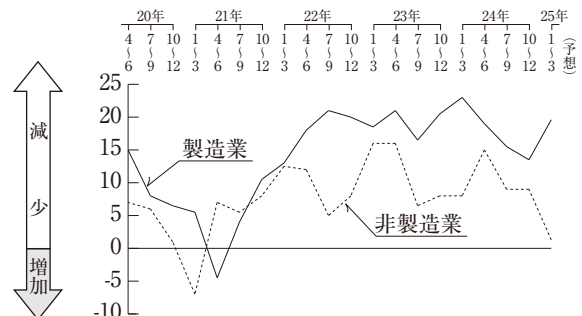
<b>資金繰りBSI「(楽-苦しい)÷2」</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+2.0(▲3.5→▲1.5)
25年1～3月の見込みは、	▲2.0(▲1.5→▲3.5)
<b>製造業の資金繰りBSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	▲1.0(▲2.0→▲3.0)
楽になる業種：繊維・縫製、電気機械	
苦しくなる業種：食料品、出版・印刷・その他	
25年1～3月の見込みは、	▲2.5(▲3.0→▲5.5)
楽になる見込み：なし	
苦しくなる見込み：食料品、金属・機械	
<b>非製造業の資金繰りBSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	+5.0(▲5.0→±0.0)
楽になる業種：建設業、卸売業など	
苦しくなる業種：なし	
25年1～3月の見込みは、	▲1.5(±0.0→▲1.5)
楽になる見込み：なし	
苦しくなる見込み：旅館・ホテル	

図-10 資金繰りのBSI



<b>借入金残高のBSI「(減少-増加)÷2」</b>	
24年10～12月は、前回調査比	▲1.0(+12.5→+11.5)
25年1～3月の見込みは、	±0.0(+11.5→+11.5)
<b>製造業の借入金残高BSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	▲2.0(+15.5→+13.5)
減少する業種：金属・機械、窯業・土石など	
増加する業種：食料品、電気機械など	
25年1～3月の見込みは、	+6.0(+13.5→+19.5)
減少する見込み：食料品、金属・機械など	
増加する見込み：窯業・土石、出版・印刷・その他	
<b>非製造業の借入金残高BSI</b>	
24年10～12月は、前回調査比	±0.0(+9.0→+9.0)
減少する業種：建設業、運輸業など	
増加する業種：卸・小売業	
25年1～3月の見込みは、	▲7.5(+9.0→+1.5)
減少する見込み：なし	
増加する見込み：建設業・卸売業	

図-11 借入金残高のBSI



## 9 雇 用……製造業は過剰感減少、非製造業は不足に転じる

製造業の常用雇用者BSI「(過剰-不足)÷2」

24年10～12月は、前回調査比 ▲7.5(+12.0→+4.5)

過剰感が増加した業種：なし

過剰感が減少した業種：繊維・縫製、金属機械など

不足感が増加した業種、減少した業種はなし

25年1～3月の見込みは、 ▲2.5(+4.5→+2.0)

過剰感増加の見込み：金属・機械

過剰感減少の見込み：電気機械

不足感増加の見込み：食料品、繊維・縫製など

不足感減少見込みはなし

非製造業の常用雇用者BSI

24年7～9月は、前回調査比 ▲3.5(±0.0→▲3.5)

過剰感が増加した業種：なし

過剰感が減少した業種：卸売業

不足感が増加した業種：小売業、運輸業

不足感が減少した業種：旅館・ホテル

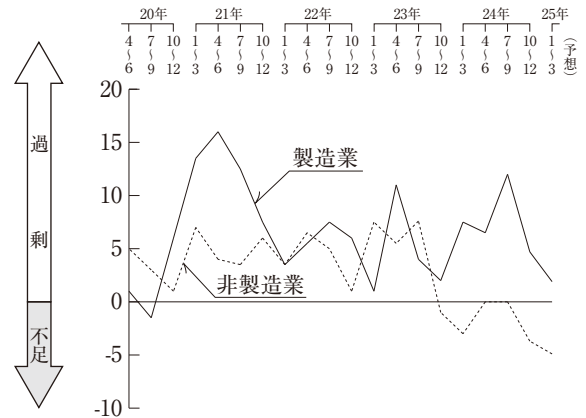
25年1～3月の見込みは、 ▲1.5(▲3.5→▲5.0)

過剰感増加の見込み、過剰感減少の見込みはなし

不足感増加の見込み：建設業

不足感減少の見込み：小売業

図-12 雇用(常用雇用者)のBSI



## 10 設備投資……製造業、非製造業ともに前年比増、補修・更新が主

24年10～12月：回答企業の37%が設備投資を実施。

前年同期実績(32%)よりも5ポイント上回った。

25年1～3月：回答企業の46%が設備投資を計画。

前年同期実績(32%)よりも14ポイント上回る見込み。

業種別設備投資企業割合

( )内は前年同期実績:単位%

	24年7～9月 実 績	24年10～12月 実 績	25年1～3月 計 画
全 産 業	36 (41)	37 (32)	46 (32)
食 料 品	43 (67)	40 (29)	40 (60)
繊 維 ・ 縫 製	0 (0)	0 (0)	0 (0)
木 材 ・ 木 製 品	0 (33)	0 (0)	0 (0)
紙 ・ 紙 加 工 品	50 (67)	50 (33)	75 (20)
窯 業 ・ 土 石	20 (0)	17 (17)	17 (17)
金 属 ・ 機 械	70 (38)	67 (58)	75 (67)
電 気 機 械	45 (67)	36 (36)	55 (40)
印 刷 ・ そ の 他	0 (40)	0 (29)	50 (0)
製 造 業	40 (46)	37 (35)	51 (38)
建 設 業	0 (25)	33 (17)	33 (22)
卸 売 業	21 (30)	29 (20)	35 (0)
小 売 業	70 (30)	33 (44)	56 (0)
運 輸 業	40 (40)	50 (20)	25 (0)
旅 館 ・ ホ テ ル	0 (50)	60 (50)	40 (0)
非 製 造 業	32 (33)	37 (28)	39 (12)

製 造 業	24年10～12月	実施割合 前年同期実績比 2ポイント増加(35%→37%) 上昇する業種:食料品、金属・機械など 低下する業種:印刷・その他
	投資目的	1 補修・更新 52% (前年同期 64%) 2 合理化・省力化 24% (同 18%) 2 増産・能力増強 24% (同 27%)
非 製 造 業	25年1～3月	計画割合 前年同期実績比 13ポイント増加(38%→51%) 上昇する業種:電気機械、金属・機械など 低下する業種:食料品
	投資目的	1 補修・更新 57% (前年同期 57%) 2 合理化・省力化 21% (同 42%) 3 増産・能力増強 18% (同 13%)
製 造 業	24年10～12月	実施割合 前年同期実績比 9ポイント増加(28%→37%) 上昇する業種:運輸業、建設業など 低下する業種:小売業
	投資目的	1 補修・更新 85% (前年同期 77%) 2 販売力増強 23% (同 23%) 2 合理化・省力化 23% (同 23%)
非 製 造 業	25年1～3月	計画割合 前年同期実績比 27ポイント増加(12%→39%) 上昇する業種:全ての業種 低下する業種:なし
	投資目的	1 補修・更新 79% (前年同期 71%) 2 販売力増強 29% (同 21%) 2 合理化・省力化 29% (同 21%)

注:投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図-13 設備投資実施企業の割合の推移

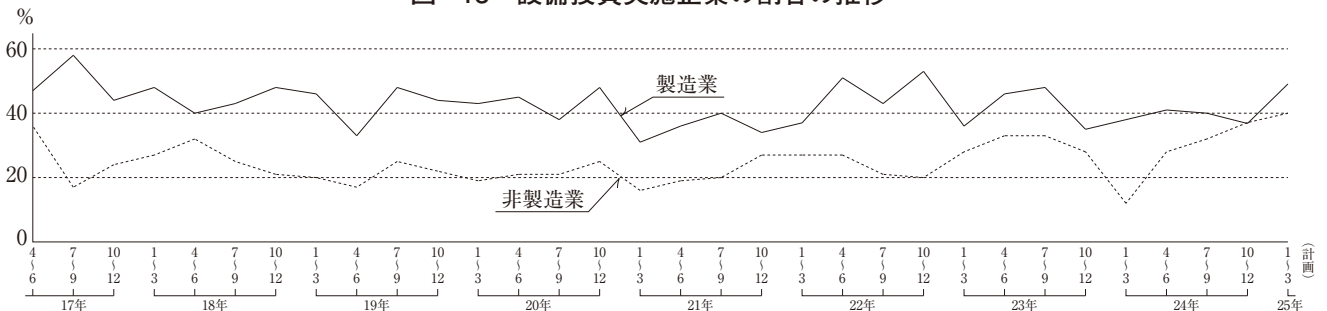
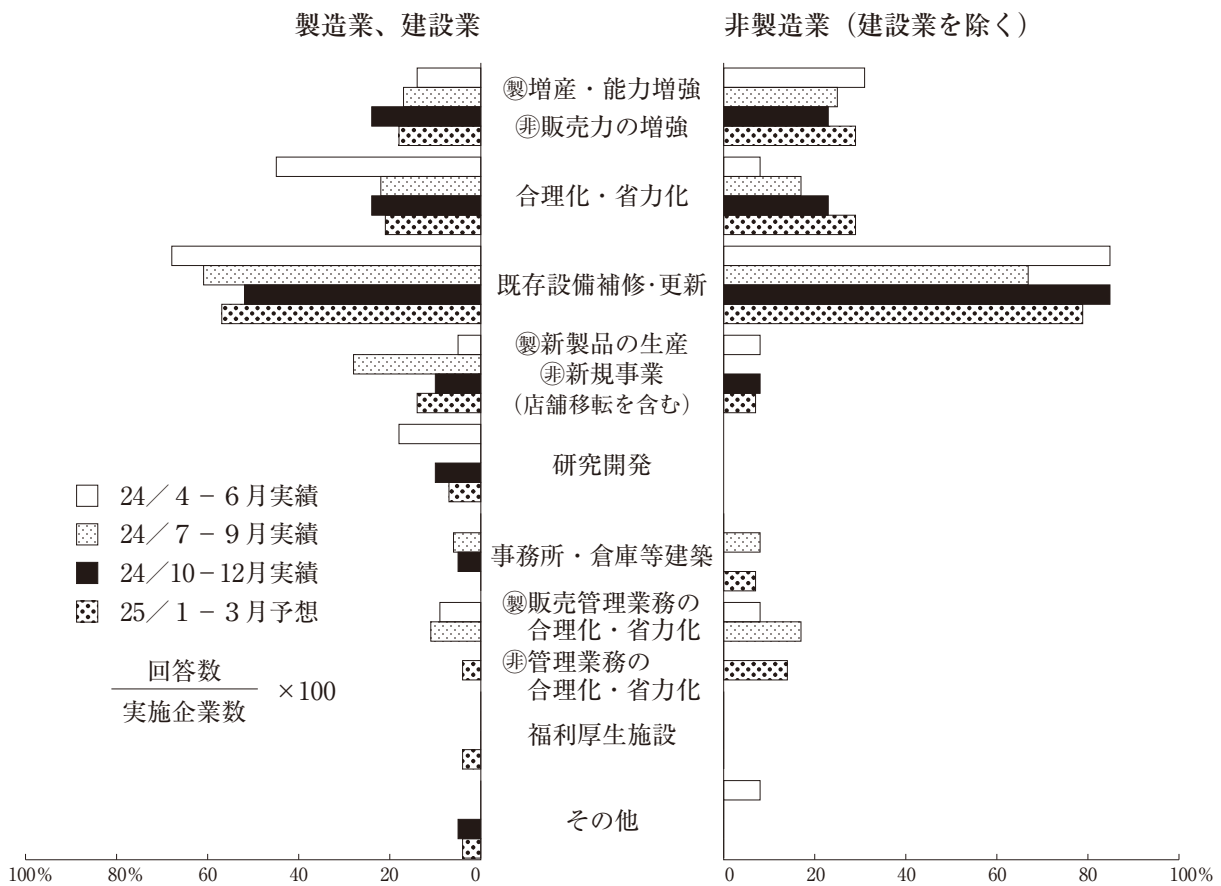


図-14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



## 11 経営上の問題点…… 製造業、非製造ともに「売上・受注の減少」が上位 「仕入価格の上昇」が上位5項目に入る

平成24年10～12月：経営上の問題点（大きいものから2項目選択）の上位5項目（全産業）に、「仕入価格の上昇」が入った。一番多かったのは「売上・受注の減少」で7ポイント上昇（製造業で7ポイント上昇し、非製造業で8ポイント上昇）。

平成25年1～3月：上位5項目（全産業）は10～12月と同様。一番多かったのは「売上・受注の減少」で4ポイント低下（製造業で2ポイント上昇し、非製造業で11ポイント低下）。「仕入価格の上昇」はここでも上位5項目に入った。

（単位：%）

	問題点	24年		25年
		7～9月	10～12月	1～3月 予想
全産業	1 売上・受注の減少	55	62	58
	2 先行き見通し難	28	23	24
	3 仕入価格の上昇	8	21	24
	4 過当競争	28	19	20
	5 販売価格の低下	19	18	19
製造業	1 売上・受注の減少	48	55	57
	2 先行き見通し難	31	32	34
	3 仕入価格の上昇	10	21	26
	4 販売価格の低下	19	17	17
	4 諸経費の増加	19	17	19
非製造業	1 売上・受注の減少	63	71	60
	2 過当競争	35	26	26
	5 仕入価格の上昇	5	21	21
	4 販売価格の低下	20	19	21
	3 先行き見通し難	25	12	12

注：上位2項目の複数回答、回答数=企業数（回答なしを含む）

図-15 経営上の問題点（上位項目）

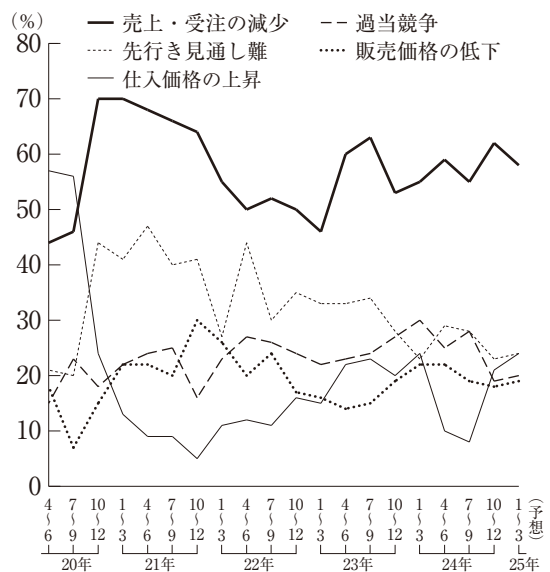




表-2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	24年7~9月実績				24年10~12月実績				25年1~3月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全産業		22	34	44	▲11.1	26	28	45	▲9.5	18	38	44	▲12.8
食料品		57	29	14	21.4	50	20	30	10.0	30	40	30	0.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	100	0	0	50.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		50	0	50	0.0	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0
紙・紙加工品		25	25	50	▲12.5	25	50	25	0.0	0	50	50	▲25.0
窯業・土石		20	60	20	0.0	33	50	17	8.3	33	50	17	8.3
金属・機械		33	22	44	▲5.6	25	25	50	▲12.5	25	25	50	▲12.5
電気機械		18	18	64	▲22.7	36	27	36	0.0	18	36	46	▲13.7
印刷・その他		14	43	43	▲14.3	13	13	75	▲31.3	13	38	50	▲18.8
製造業		28	30	41	▲6.5	32	26	42	▲4.7	21	38	42	▲10.4
建設業		33	50	17	8.3	33	33	33	0.0	50	50	0	25.0
卸売業		13	38	50	▲18.8	28	28	44	▲8.3	6	41	53	▲23.5
小売業		20	40	40	▲10.0	0	44	56	▲27.8	11	45	44	▲16.7
運輸業		0	40	60	▲30.0	25	25	50	▲12.5	25	25	50	▲12.5
旅館・ホテル		0	0	100	▲50.0	0	20	80	▲40.0	0	20	80	▲40.0
非製造業		15	38	48	▲16.3	19	31	50	▲15.5	15	39	46	▲15.9

表-3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	24年7~9月実績				24年10~12月実績				25年1~3月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全産業		30	26	44	▲7.1	27	27	46	▲9.6	26	36	38	▲6.2
食料品		57	14	29	14.3	50	13	38	6.3	25	38	38	▲6.3
繊維・縫製		0	100	0	0.0	100	0	0	50.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		50	0	50	0.0	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0
紙・紙加工品		25	50	25	0.0	25	25	50	▲12.5	25	50	25	0.0
窯業・土石		20	40	40	▲10.0	17	33	50	▲16.7	33	67	0	16.7
金属・機械		40	0	60	▲10.0	27	36	36	▲4.6	27	27	46	▲9.1
電気機械		36	0	64	▲13.6	36	18	46	▲4.6	36	18	46	▲4.6
印刷・その他		14	57	29	▲7.2	13	25	63	▲25.0	25	25	50	▲12.5
製造業		34	21	45	▲5.4	30	24	46	▲8.0	28	34	38	▲5.0
建設業		50	33	17	16.7	17	33	50	▲16.7	67	33	0	33.4
卸売業		20	33	47	▲13.4	25	44	31	▲3.2	2	7	7	▲2.5
小売業		20	40	40	▲10.0	22	22	56	▲16.7	22	22	56	▲16.7
運輸業		25	25	50	▲12.5	67	0	33	16.7	33	33	33	0.0
旅館・ホテル		0	0	100	▲50.0	0	20	80	▲40.0	0	60	40	▲20.0
非製造業		24	33	43	▲9.5	23	31	46	▲11.6	23	38	39	▲7.7

表-4 業種別 経常利益 B S I

業種	期 判断	24年7~9月実績				24年10~12月実績				25年1~3月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全 産 業		28	26	46	▲ 8.9	28	29	42	▲ 7.1	19	37	45	▲13.1
食 料 品		57	43	0	28.6	50	30	20	15.0	10	60	30	▲10.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	50	50	▲25.0	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0
紙・紙加工品		25	25	50	▲12.5	25	25	50	▲12.5	0	50	50	▲25.0
窯業・土石		25	50	25	0.0	50	33	17	16.7	33	50	17	8.3
金属・機械		40	30	30	5.0	33	25	42	▲ 4.2	17	25	58	▲20.8
電気機械		27	0	73	▲22.7	18	55	27	▲ 4.6	9	55	36	▲13.7
印刷・その他		43	14	43	0.0	25	25	50	▲12.5	25	25	50	▲12.5
製 造 業		35	26	39	▲ 2.2	32	34	34	▲ 0.9	15	43	42	▲13.2
建 設 業		17	67	17	0.0	33	33	33	0.0	67	17	17	25.0
卸 売 業		13	27	60	▲23.4	24	24	53	▲14.7	12	35	53	▲20.6
小 売 業		30	10	60	▲15.0	25	25	50	▲12.5	13	38	50	▲18.8
運 輸 業		40	20	40	0.0	33	0	67	▲16.7	33	0	67	▲16.7
旅館・ホテル		0	0	100	▲50.0	0	20	80	▲40.0	20	20	60	▲20.0
非 製 造 業		21	26	54	▲16.7	23	23	54	▲15.4	23	28	49	▲12.8

表-5 業種別 販売価格 B S I

業種	期 判断	24年7~9月実績				24年10~12月実績				25年1~3月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I $\frac{A-C}{2}$
全 産 業		5	65	30	▲12.5	9	75	16	▲ 3.8	12	69	19	▲ 3.8
食 料 品		14	86	0	7.2	0	100	0	0.0	10	90	0	5.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
木材・木製品		0	50	50	▲25.0	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0
紙・紙加工品		25	75	0	12.5	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
窯業・土石		50	25	25	12.5	17	67	17	0.0	33	50	17	8.3
金属・機械		0	60	40	▲20.0	0	75	25	▲12.5	8	75	17	▲ 4.2
電気機械		0	55	46	▲22.8	0	64	36	▲18.2	0	64	36	▲18.2
印刷・その他		0	71	26	▲12.8	0	71	29	▲14.3	0	57	43	▲21.5
製 造 業		9	63	28	▲ 9.8	4	75	21	▲ 8.7	10	69	21	▲ 5.8
建 設 業		0	75	25	▲12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
卸 売 業		0	69	31	▲15.7	24	65	12	5.9	18	59	24	▲ 3.0
小 売 業		0	60	40	▲20.0	22	67	11	5.6	22	67	11	5.6
運 輸 業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	33	67	▲33.4	0	80	20	▲10.0	20	40	40	▲10.0
非 製 造 業		0	68	32	▲15.8	15	76	10	2.4	15	68	17	▲ 1.3

表-6 業種別 仕入価格 BSI

業種	期 判断	24年7~9月実績				24年10~12月実績				25年1~3月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	BSI $\frac{A-C}{2}$	A 上昇	B 不変	C 低下	BSI $\frac{A-C}{2}$	A 上昇	B 不変	C 低下	BSI $\frac{A-C}{2}$
全産業		13	69	18	▲ 2.4	25	64	12	6.5	31	59	10	10.8
製造業	食料品	29	71	0	14.3	30	60	10	10.0	40	60	0	20.0
	繊維・縫製	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	木材・木製品	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	紙・紙加工品	25	75	0	12.5	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	窯業・土石	25	75	0	12.5	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
	金属・機械	10	40	50	▲20.0	17	58	25	▲ 4.2	25	58	17	4.2
	電気機械	18	64	18	0.0	18	64	18	0.0	36	45	18	9.1
	印刷・その他	29	43	29	0.0	14	43	43	▲14.3	0	57	43	▲21.5
製造業		20	61	20	0.0	21	62	17	2.0	27	60	14	6.7
非製造業	建設業	0	75	25	▲12.5	0	100	0	0.0	33	67	0	16.7
	卸売業	6	75	19	▲ 6.3	35	59	6	14.7	35	53	12	11.8
	小売業	0	80	20	▲10.0	22	67	11	5.6	22	78	0	11.1
	運輸業	20	80	0	10.0	75	25	0	37.5	75	25	0	37.5
	旅館・ホテル	0	100	0	0.0	20	80	0	10.0	40	60	0	20.0
非製造業		5	79	16	▲ 5.3	29	66	5	12.2	37	59	5	15.9

表-7 経営上の問題点 (上位項目)

(単位：%)

	問題点	20年			21年				22年				23年				24年				25年
		II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I予想
製造業	1 売上・受注の減少	34	43	68	70	71	61	58	56	44	48	45	42	64	65	43	60	50	48	55	57
	2 先行き見通し難	25	23	48	50	56	44	45	38	51	32	37	34	32	33	27	19	36	31	32	34
	3 仕入価格の上昇	60	68	32	17	12	12	10	11	18	11	20	19	22	22	24	23	11	10	21	26
	4 販売価格の低下	21	7	11	22	15	16	24	20	22	30	20	19	14	14	22	29	23	19	17	17
	5 諸経費の増加	26	16	4	4	5	12	10	9	16	11	12	11	12	12	16	13	18	19	17	19
	6 過当競争	8	13	9	11	8	25	8	20	18	18	16	15	22	22	18	23	18	23	13	15
	7 資金繰り難	15	7	5	7	5	4	3	2	2	0	4	4	4	4	6	4	7	8	6	6
	8 労働力不足	2	4	4	0	0	4	2	7	4	2	2	2	0	0	6	0	2	4	6	8
非製造業	1 売上・受注の減少	55	50	73	70	63	71	72	54	59	57	56	52	56	61	63	50	70	63	71	60
	2 過当競争	22	35	27	36	42	2	26	26	37	36	33	31	25	24	35	23	34	35	26	26
	3 仕入価格の上昇	53	42	16	9	6	4	0	11	4	12	10	10	22	12	15	19	9	5	21	21
	4 販売価格の低下	14	6	20	23	29	24	38	33	17	17	13	12	14	3	15	27	21	20	19	21
	4 先行き見通し難	16	17	39	30	37	36	36	13	35	26	33	31	33	15	29	31	21	25	12	12
	6 人件費の増加	2	4	2	0	6	13	4	9	11	5	5	5	11	15	8	10	9	5	10	10
	7 資金繰り難	8	15	14	16	2	11	12	7	0	7	10	10	14	9	10	6	11	15	10	12
	8 労働力不足	2	2	2	2	0	0	2	2	4	7	5	5	3	3	3	0	4	3	7	12

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

# 平成25年の 設備投資計画アンケート

## 実施予定企業2年連続で増加

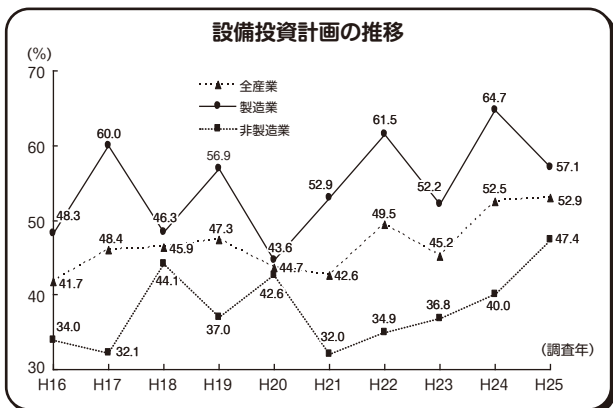
平成25年に設備投資計画があると回答した企業は、全体で52.9%と、前年と比べ0.4ポイント増加し、2年連続の増加となった。設備投資計画の内容・規模をみると、「前年より増額する」が2.1ポイント減少し、「前年より減額する」が3.3ポイント増加したことなどから、設備投資計画の規模は縮小していることが窺える。

## アンケート調査の概要

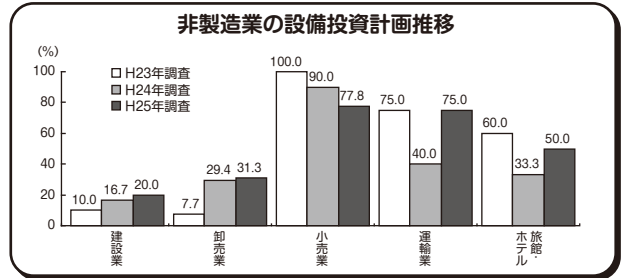
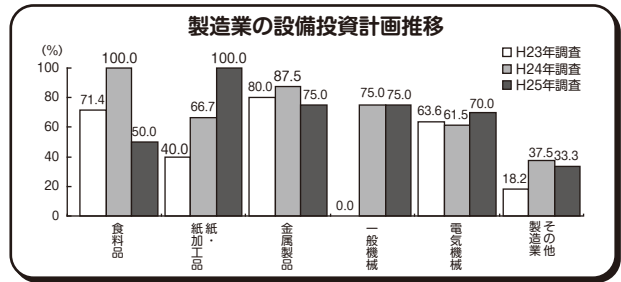
平成25年2月に鳥取県内の220社にアンケート調査を依頼し87社から回答を得た(有効回答率39.5%、製造業49社、非製造業38社)(毎年2月に実施)。

### 1. 設備投資計画の推移(全体、業種別、資本金別)

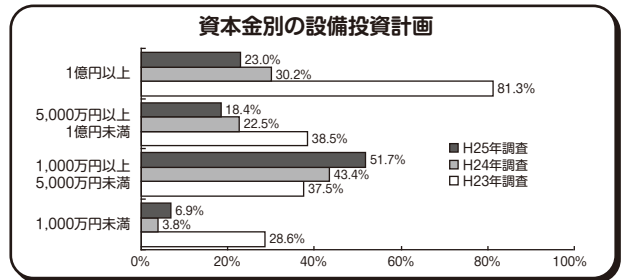
平成25年に設備投資を計画している企業は、全体の87社中46社(回答企業の52.9%)で前年調査52.5%から0.4ポイント増加し、2年連続の増加となった。製造業では28社(同57.1%)で前年調査の64.7%から7.6ポイント減少、非製造業では38社(同47.4%)で前年調査の40.0%から7.4ポイント増加し、製造業と非製造業の差が縮小する結果となった。



業種別にみると、製造業では、「電気機械」で8.5ポイント、非製造業では、「建設業」で3.3ポイント、「運輸業」で35.0ポイント、「旅館・ホテル」で16.7ポイント増加した。



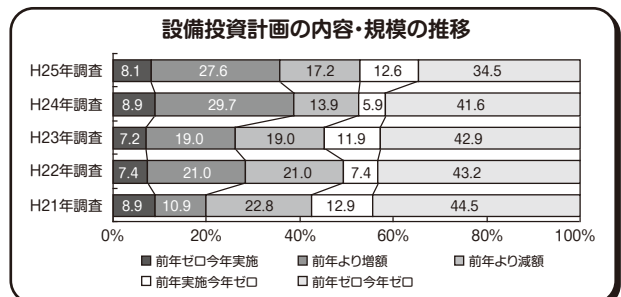
資本金別にみると、前年調査と比較して、設備投資計画のある企業は、資本金「1,000万円以上5,000万円未満」と「1,000万円未満」の企業で増加し、「5,000万円以上1億円未満」と「1億円以上」の企業で減少した。



### 2. 設備投資計画の内容・規模(前年実績に対する増減割合)

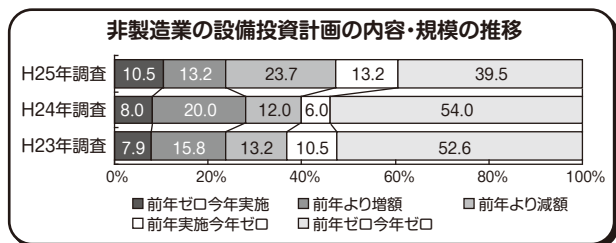
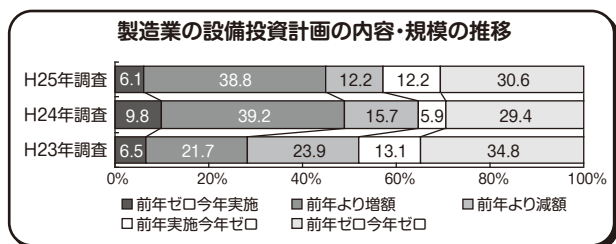
設備投資計画の規模をみると、「前年は実施しなかったが今年は実施する」は8.1%(前年調査8.9%)、「前年より増額する」は27.6%(同29.7%)、「前年より減額する」は17.2%(同13.9%)、「前年は実施したが今年は実施しない」は12.6%(同5.9%)、「前年に続き今年も実施しない」は34.5%(同41.6%)となった。

前年調査と比較すると、「前年より増額する」が2.1ポイント減少し、「前年より減額する」が3.3ポイント増加したことなどから、設備投資計画の規模が縮小していることが窺える。



業種別にみると、製造業では、前年調査と比較して設備投資計画のある企業の割合は0.4ポイント減少しており、「前年より増額する」が2.1ポイント(前年調査39.2%→今回調査38.8%)減少し、「前年より減額する」が3.5ポイント(同15.7%→同12.2%)減少したことから、設備投資計画自体の縮小が窺える。

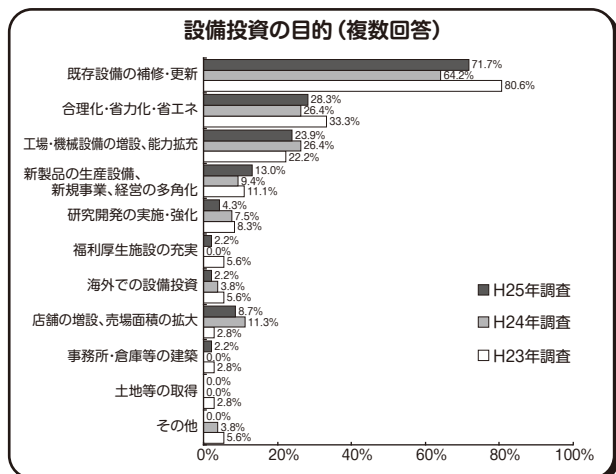
非製造業では、「前年は実施しなかったが今年は実施する」が2.5ポイント(同8.0%→同10.5%)、「前年に引き続いて実施しない」が14.5ポイント(同54.0%→同39.5%)減少し、設備投資を実施する企業の割合が増加した。



### 3. 設備投資計画の目的

設備投資の目的(複数回答)は、「既存設備の補修・更新」が7割を超え(今回調査71.7%)例年同様最も多い回答となった。

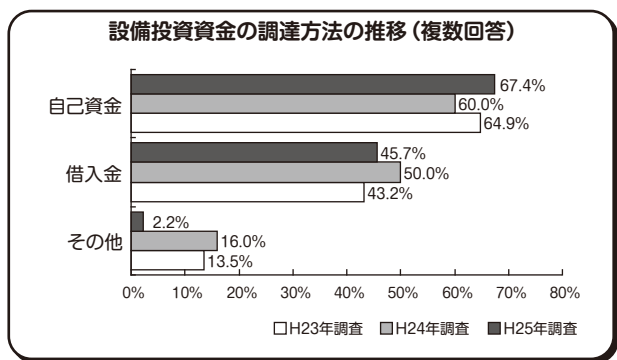
前年調査と比べ増加した主な項目は、「合理化・省力化・省エネ」(1.8ポイント増加)、「新製品の生産設備、新事業、経営の多角化」(3.6ポイント増加)などであった。コスト削減をねらった設備投資計画に加え、業種転換も踏まえた設備計画も窺える。



### 4. 設備投資資金の調達方法

設備投資計画における主な資金の調達方法(複数回答)をみると、「自己資金」が67.4%(前年調査60.0%)、「借入金」が45.7%(同50.0%)、「その他」が2.2%(同16.0%)となった。

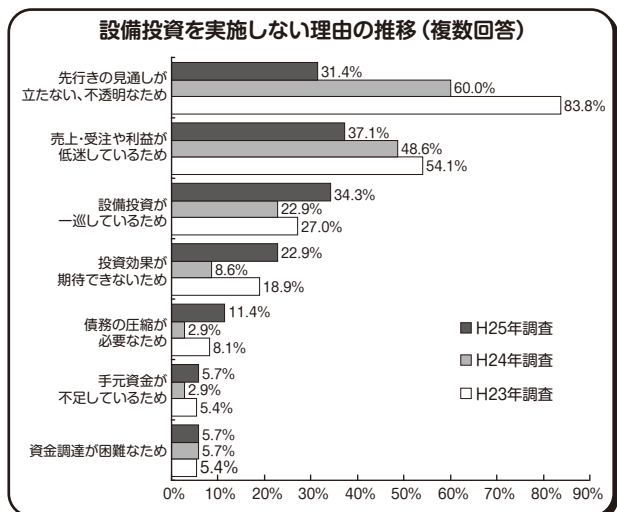
前年調査と比較すると「自己資金」が7.4ポイント増加したが、「借入金」は4.3ポイント、「その他」が13.8ポイントそれぞれ減少した。



### 5. 設備投資を実施しない主な理由の推移

設備投資を実施しない主な理由(複数回答)は、「売上・受注や利益が低迷しているため」(前年調査48.6%→今回調査37.1%)をあげる企業が最も多く、次いで「設備投資が一巡しているため」(同22.9%→同34.3%)、「先行きの見通しが立たない、不透明なため」(同60.0%→同31.4%)と続いている。

前年調査と比較すると、「売上・受注や利益が低迷しているため」は11.4ポイント、「先行きの見通しが立たない、不透明なため」は28.6ポイント減少したが、「設備投資が一巡しているため」は11.4ポイント増加となった。長らくの経済環境の悪化に加え、先行きの不透明感も大きく影響していることが窺える結果となった。





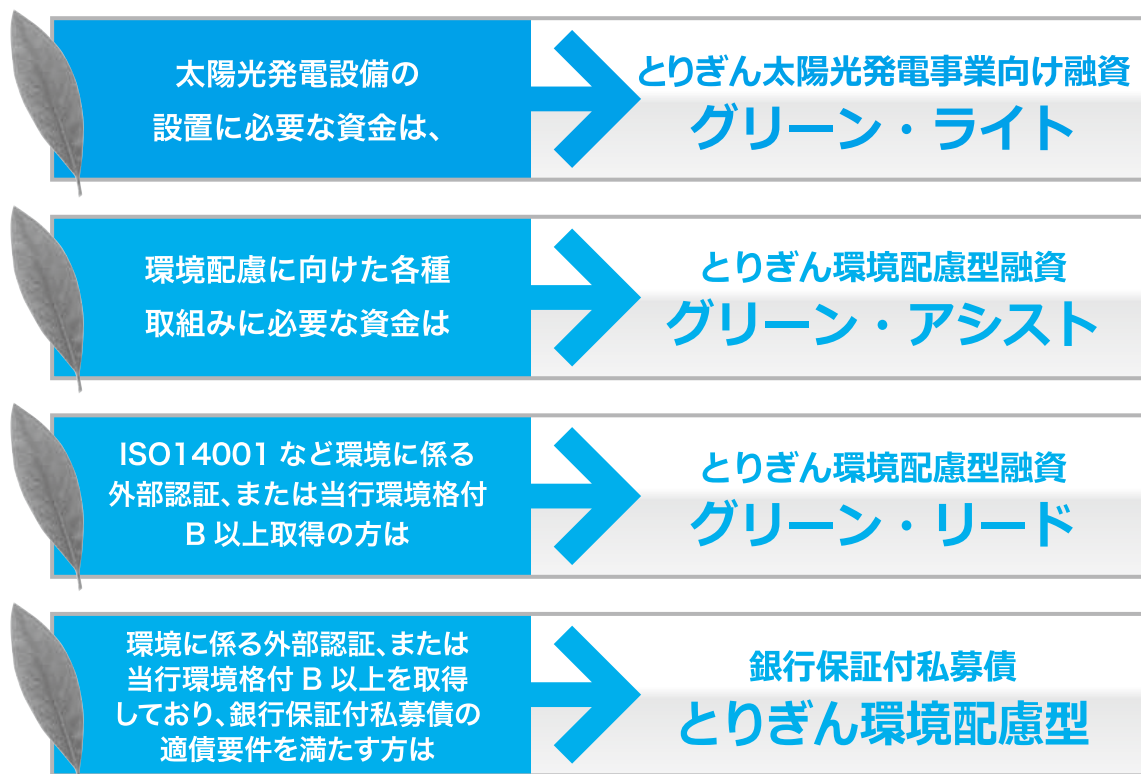
「環境配慮型経営」

「環境保全に向けた取組み」を

実践される事業者の皆さまへ

# とりぎん環境配慮型融資・私募債 ラインナップ

4つのラインナップから貴社に最適な融資商品・私募債をお選びいただけます



上記商品は、各種条件・審査等がございます。

詳しくはお近くのとりぎん窓口、または下記ビジネスプラザまでお問い合わせください。

**ビジネスプラザ鳥取** (産業会館支店) TEL.0857-27-1431

鳥取市本町3-201 鳥取産業会館鳥取商工会議所ビル1階 【営業時間】平日9:00~17:00

**ビジネスプラザ米子** (米子商工会議所会館出張所) TEL.0859-31-7700

米子市加茂町2-204 米子商工会議所会館1階 【営業時間】平日9:00~17:00

TOTTORI BANK  青い鳥の銀行です。  
**鳥取銀行**  
<http://www.tottoribank.co.jp>

平成25年3月25日現在

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部  
くらしと経営相談所

☎680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地  
TEL 0857-37-0220

**re100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています